臺灣日日新報
本日四頁

ガ島作戰に武功絶大
〇〇砲の威力顯現
鬼塚部隊 感狀上聞に達す

【東京發】鬼塚部隊は昭和十七年十月下旬以降ガダルカナル島ルンガ飛行場の攻撃その他困難なる作戰に協力し敵の反撃を随所に撃退し我が全般の作戰に甚大なる貢獻をなし、さきに軍司令官から感狀を授與されたが今般畏くも上聞に達せられた、二十三日陸軍省から左の通り發表された

陸軍省發表（十一月二十三日十六時）ガダルカナル島作戰に從ひ武功抜群なりし鬼塚部隊に對し二月十一日軍司令官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり、右部隊は先づガ島ルンガ飛行場の攻撃に協力したる後海岸道方面に轉進し、又十一月下旬以降困難を極めし我が持久作戰に當りては各陣地に陣地を占領し敵の反撃を挫折せしめ、更に本年一月下旬の撤收作戰において後衛部隊に屬し敵軍の追撃を阻止し我軍の企圖達成を容易ならしめたる等常に絶大なる困難を克服して全般の作戰に甚大なる貢獻をなしたるものなり

感狀

鬼塚部隊

右はガダルカナル島作戰に從ひ昭和十七年十月下旬ルンガ飛行場攻撃に協力したる後海岸道方面に於ける敵の攻撃に際會し火砲を駆使しつつ陣地を確保し、爾後に於ける敵の攻撃を撃退し、十一月下旬以降困難を極めし我が持久作戰遂行に方りては主力を以て〇〇部隊に配屬せられアウステン山附近の陣地を占據し爾來約二箇月に亘り日夜不斷の熾烈なる敵砲火下に克く任務を完遂し、また〇〇砲の特性を發揮し敵の反撃を以て有效なる戰果を收め、以て撤收作戰に於ては後衛部隊に屬せられ至難なる狀況の下に將兵の損害大なるを顧みず敢然火砲を駆使し敵の企圖を挫折せしめ、全軍の撤收を容易ならしめたり、是實に部隊長の適切なる統率指揮と將兵の敢闘とに依り絶大なる困難を克服し常に戰場の枢要なる方面に於て〇〇部隊の特性を遺憾なく發揮し全般の作戰に貢獻せる功績大にして武功抜群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十八年二月十一日

軍司令官

印度國民軍と提携
米英撃滅を期す
印度假政府樹立に關し 河邊最高指揮官談

印度獨立支援の國策

天皇陛下親臨
樞府臨時本會議開かる

應召代議士補充せず
關係法律案樞府可決

豫算に彈力性與ふ

米英驅逐以外に
インド獨立不能
天羽總裁談

假政府に全幅の援助
澤田緬甸駐劄大使談話

陸鷲チツタゴン急襲
二機撃墜、大型二隻に至近彈

敵側も發表

高黎貢山脈一帶の
重慶軍殲滅の危機
軍事委員會も事實認む

瀘水地區で激戰續く

比國初代駐日大使
バルガス氏起用に決定

比律賓有數の日本通

翼政會代議士會

法律案要綱の豫備審査終了

社告

人事

けふの官報

實る秋―三年後の收穫は？
三年經つのは早いものです。山一の投資信託に加入して毎年四分二・四厘見當の實積配當をうけながら、三年後の運用利益の分配を待つのは樂しいものです。詳しい說明書を御請求下さい。
一口・五百圓 期間・三年
只今 第九次募集中
山一證券臺北支店
臺北市京町二ノ一

☆海軍の戰局讀物國民雜誌☆
戰線文庫
十一月號 四十錢
現地報道 特輯海軍報道班員
戰線は日本晴れ
明朗座談會
☆航空決戰の新様相…海軍大佐 齋藤正久
出席者 畫家 伊東深水／彫刻家 中村直人／漫畫家 近藤日出造／同 中村正常
軍艦南へ征く 明朗漫畫 鹿島孝二
現地報告集 英雄踊り・小林三郎／濠洲潜航記・古賀秀夫／曉の爆撃行（繪と文）・大久保作次郎
レンドバ島血戰記 淺井達三
軍艦も飛行機も忽ち直る 海軍工作學校 宇井無愁
戰ふ電波と新兵器……谷村功
傑作小說 海兵 佐々木邦／建艦の誓ひ 玉川一郎／霧の中の捕虜 納言恭平／特別附録 搖籃 加藤武雄
（附）ベララベラ島海域戰局要圖 附・もしき海軍少年兵への道
東京都麹町區内幸町二ノ二 振替東京七六一四一 興亞日本社

政府保證 第拾參回 戰時金融債券賣出
發行者名 戰時金融金庫（資本金三億圓）
發行總額 五千萬圓
各債券ノ金額 一千圓、五千圓、一萬圓、五萬圓、十萬圓
利率 年四分二厘
發行價額 額面百圓ニ付 百圓
償還方法及期限 十二箇年（內二箇年据置後抽籤償還）
利息支拂期日 每年三月二十日及九月二十日ノ二回
元利金支拂場所 日本興業銀行本支店及其ノ代理店
拂込期限 十一月十九日
證券引受會社 野村證券株式會社本支店／山一證券株式會社本支店／日興證券株式會社本支店／藤本證券株式會社本支店／川島屋證券株式會社本支店／共同證券株式會社本支店

この記事は御必讀を
主婦之友
十一月號・必勝の耐乏生活號（全價四十錢）
☆
必勝の補給戰へ谷萩少將
海軍教育と家庭・栗原大佐
日本精神講座・高原陸軍大佐
・空襲と國土防衛戰
・ニューギニア戰線行
・海軍機關學校
・轉換工場見學
・日本食糧陣
・腦溢血豫防と看護
・節米戰時食十五種
・冬の婦人子供簡素服
品不足の折柄、お買洩れの方はお知合ひの方に借りてもお讀みくださるやう、お奬めします。

文藝讀物 十一月號
文藝春秋社
東京都麹町區内幸町 振替東京一七三〇六
◎前線慰安・奉仕特大號
十一月特大號は前線將士慰問號として特輯されてゐます。熾烈なる戰ひに、儼然たる警備に、日夜奮闘されてゐる兵隊さんを慰安してあげるのは銃後國民の義務であります。
オール讀物 改題
兵隊さんの喜ばれるやう全力をあげて傑作讀物を集めました。皆さんも是非誓つて一冊は前線へ送つてあげて下さい。兵隊さんはどんなに喜ばれるでせう。協力をお願ひいたします。
特價四十五錢
基地の花
大郎長開墾
廣東華僑
姫島記
クエンコ大尉
牙と威嚴
槍の折れ
興安嶺

社説

印度假政府成立の意義

人・物擧げて戰鬪配置

態勢整ふ島内經濟界

臺北州管下農務主任會議

本島工業化の陣容强化

本二期稻作況

生育順調 出穗は先づ平年並

高雄州民行造林に拍車

東臺灣電力の買收

本年度内に實現したい

歸臺の增田社長語る

鮮魚の配給隘路是正

魚苗の專用輸送船計畫

選鑛劑增產運動展開

樂滿總務課長 山元の敢鬪語る

決戰 女子青年よ働かう

經濟手帖 自發的供出 期待量

臺中市の模範店舗 二十五日表彰式

海洋戰士の意氣昂揚

菊地訓練隊長 皇奉海洋訓練隊を查閲

市況(廿三日)

兒町前場況

東京長期前場

東京長期總取組

島内株中値表

増産陣 決戰だ

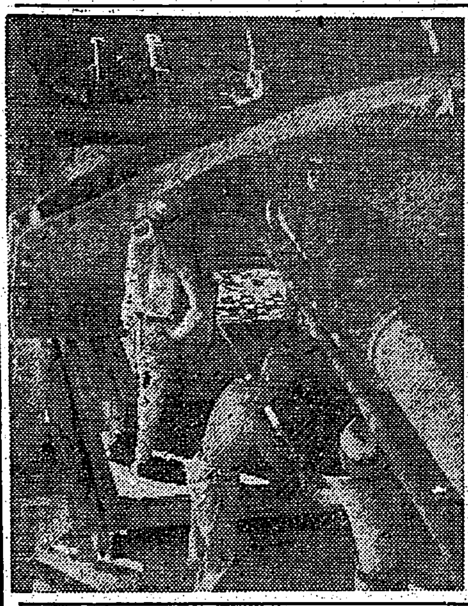
セメント工場の決戰態勢

工場長指揮の下

創意活かして一路邁進

セメントの重要性

能率増進の苦心



(寫眞はセメント工場の回轉窯作業)

敕題「海上日出(かいじやうにひいづ)」と御決定

雄渾と壯嚴の極致

三條御歌所々長謹話

藤原工大

花蓮港神社例大祭

勤報認見訓練所入所式

今日の映畫

從業員募集

職種 一般工員及ミシン修理工(經驗者)

人員 若干名男女共

年齡 男女共十三歲以上四十五歲以下

食欲不振
消化不良
榮養障碍

バンドマシン 錠劑

完全消化
胃腸整調
榮養充實

働く女性の身嗜みに
資生堂七色粉白粉

戰力鈍らすムシ齒を防がう
ライオン齒磨

ビタミン 乳酸菌 カルシウム 綜合劑
エビオゲン 錠

勅題「海上日出」と御決定
麗かな御題拜し民草感激

昭和十九年歌會始勅題 海上日出

雄渾と壯嚴の極致
三條御歌所々長謹話

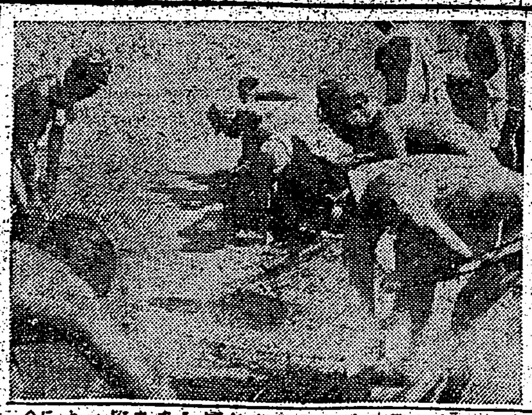
全島民に總動員令
臺灣一家擧げ挺身
督府の島内決戰態勢强化要綱

十一月常會申合事項

膝詰めで肚裡を吐露
島内戰時態勢を强化
奉壯團本部 地域別市街庄 團幹部と懇談

故中薗中將邸に侍從を御差遣

白衣勇士を漁で慰問



學校防空陣の强化
基本要項に示す根本方針

皇道警察確立
大東亞に 體驗と感想を聽く會

南進の意氣に湧く
蜂谷、櫻井兩氏より 南方事情を聽く會

結集の力に依つて冷靜沈着事に當れ
西村文敎局長談發表

“强い女性は健兵の母 一人一人が勝抜け”
徵兵制度趣旨徹底講演會

山の男士の忠魂を讃ふ
花蓮港警察署 忠靈塔建設

藤原工大
慶應大學に合併

けふ軍馬祭を執行
護國神社の大前で

藤岡兵務部長
臺東で特別査閱

皇奉中央本部 宣傳協力委員會

花蓮港神社例大祭

烈々たる氣魄 漲る武術大會
臺北中央三分會

勤報滬見訓練所入所式

鹽 砂糖
島外旅行者に特配
砂糖一人につき五斤宛

内地旅行者の鹽携帶要綱

花蓮港の地震
三十年振りの强震

飛行機獻納に赤誠

勸銀、債券大口當籤番號發表

ねつと せきには 美味 孩漂 お茶でのむとよくキキます

健全投資で戰力增强 公債 社債 株式 大阪商事

債權申出公告

行旅死亡公告
新店街役場

東寶國際館 本日ハ三回

今日の映畫
大世界 台灣劇 新世界 芳乃館 芳明館 城南映劇 萬華劇場 第三世界 太平館 中央劇場 基隆世界 旭劇場 大和劇場 羅東座 宜蘭座 昇平座 基隆劇場 元州合同興業會社

妻イツ子儀 ……臺北帝大醫院に入院加療中……十月二十一日死去致候 夫 増居文四郎

妻タネ儀 …… 夫 田中良三

父田口美堯事 …… 男 田口虎治

御會葬御禮 淺井一政

會葬御禮 田中醇輔

内科 吉田内科醫院

株式名義書換停止 日本製菓株式會社

外科 泌尿器科 放射線科 福島外科醫院

内科 小兒科 南風原病院

健民住宅 臺灣住宅無盡株式會社

政府保證第二回 臺灣拓殖債券 抽籤償還公告
第二次定時
償還金額 金貳拾萬圓也
償還期日 昭和十八年十一月五日
支拂場所 日本興業銀行本店及各支店 ……
昭和十八年十月二十四日 臺灣拓殖株式會社

追加謹告
基隆市 秋道商店 秋道圓治
右商店ハ當會社統合致候間左樣御了承被下度此段追告仕候
臺灣船用品統制株式會社

從業員募集
一、人員 若干名男女共
一、職種 一般工員及ミシン修理工
一、年齡 男女共十三歲以上四十五歲以下
一、條件 ……
右法令ノ範圍内ニ於テ優遇ス希望者ハ來社ノ上申込マレタシ
臺灣ゴム株式會社勞務係

捧げ盡して—

何か惜しまん

六名從軍中三名散華　楊永發氏の一家

親孝行者の倅戰死

弟五人も捧げまつらん

徵兵制

施行に備へて

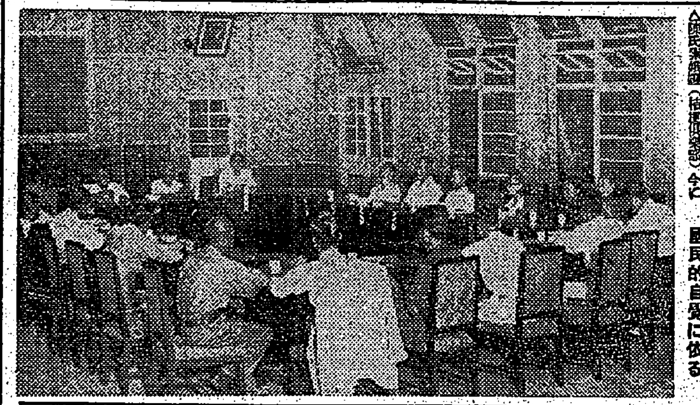
燃ゆる熱意の座談會

臺南

國語生活を如何に徹底せしめるか

家庭內に於ける躾から

內臺人接觸の機會を



國民的自覺に依る

內地人の正確な日本語の使用

團體訓練合宿訓練をドシ〳〵

宿泊訓練を實施

世話役の力を利用し

お菓子屋さん　計畫配給の金で

紅唇を奔る熱辯

臺中みどり會の講演

硬貨回收

廿萬圓目ざし猛進

增產へ大安溪開拓

臺中州青年隊を動員

空襲！お揃り訓練

稔りの秋

供出米懇談說明會

戰時特別定期貯金

割當額超過の盛況

敎ばしき早期完納

官民打つて一丸

興亞報國會支部發會

徵兵獻納熱

締切を前に高潮

徵兵感謝貯蓄

居留民會議員

任期延長を發表

お手柄

よい仔馬

未經驗の百姓さんに凱歌

地方行政事務擔當者錬成

二期作の供出

種々名案を協議

竹南秋まつり

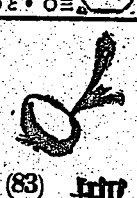
ラジオ

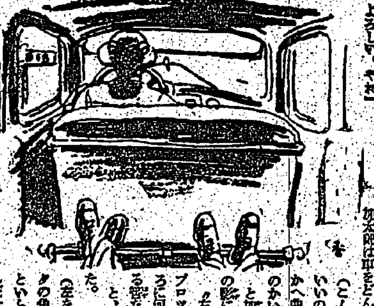
オ一放送

オ二放送

椰子（83）

梅野十三作　村上松次郎繪





「戻りました」

加太郎はアクセルを踏んだ。車は動き出した。

「どつちへいらつしやるんです」

「はあ。ビー十三號館ですね。」

「ビー十三號館へやれ」

「曲ります上」

「おう、大丈夫だ」

「はいお待ち遠さま」

小西六寫眞工業株式會社

さくらフヰルム

さくら印画紙

再發！

時候の變り目が一番危險！腸藥は今だ！本劑は早いときは二三日遲くとも二週間以內に大概の著效を現はす！從來の慢性の如く一時治つた樣でその實不攝生化し時候の變り目や不攝生等に依つてすぐ再發する藥とは斷然違ふ！　包裝24錠

ギノサイト

もう一ぺん

補給戰

赤玉ポートワイン本舖　株式會社　壽屋

效能で賣れる

七ふくひえぐすり

本家七ふくや伊藤長兵衛

大阪高津表門筋

振替大阪九七三・電南七二九

胃腸に

ワカマツ

食物の消化吸收をよくし胸やけ胃痛を防ぎ、食慾を進めて、毎日氣持よい便通をつけます。

今津化學研究所

病毒で困る人へ

私の治療藥を敎へる

月やく

ヒノデ本家

ぜんそく

日輪寺

洋裁　看護婦　產婆　帳場　女中　女子　倉庫　齒科　技工　寫眞　留守　家を　家政　据置　投資　ムシケン　レントゲン

ラジオ　轉宅　引越　運搬　新古　冷藏　職帽　深夜　結婚　高級　防空